

「高齢運転者事故防止対策協力式」を実施

～ 静岡県警に高齢運転者事故防止対策啓発ポスター500枚とチラシ20,000枚を寄贈 ～

日本損害保険協会中部支部静岡損保会（会長：牛島 大介・三井住友海上火災保険株式会社 静岡支店長）では、8月19日（火）に静岡中央警察署にて高齢運転者事故防止対策協力式を開催し、アンバサダーが高齢者に対して補償運転（※）を呼びかける内容のポスター500枚とチラシ20,000枚を寄贈しました。

※補償運転とは、加齢に伴う運転技能の低下を補うために、自身の体調や天候、道路状況を考慮して安全に運転すること

今回、静岡県内の交通事故を防止する上での最重要課題である「高齢運転者事故防止対策」に重点を置いた広報啓発を展開するため、孫世代から祖父母世代に対して働きかけることは効果的であると言われていいます。高齢者の心に響きやすい「孫からのアプローチ」をコンセプトに高齢者に人気のある相撲を用いることとし、「第33回わんぱく相撲静岡県大会横綱」の富士市立鷹岡小学校 岩上 毘優雅（いわかみ ひゅうが）さんをアンバサダーとして静岡県警が委嘱しました。

当日は、掲題協力式に先立ち、アンバサダー委嘱式が開催され、静岡県警交通部長室で鈴木交通部長より、岩上さんへアンバサダーの委嘱状が交付されました。その後開催された協力式では、牛島損保会長よりポスターとチラシの披露があり、「これらの啓発物が、静岡県内の様々な場所で掲示・配布されることで、多くの高齢者の皆様とそこご家族の皆様の目に触れ、安全運転への意識向上、ひいては交通事故防止の一助となることを心より願っている。」と挨拶がありました。

引続き静岡県警鈴木交通部長から、「この度は、高齢者の交通事故防止のために大変迫力のある、一度見たら忘れられないポスターとチラシを作成いただき、心から感謝申し上げます。県民の目に見える公共機関、商業施設、病院等で掲示・配布させていただき、活用していきたい。」との挨拶がありました。

当支部では、今後も、静岡県警ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



岩上さんへアンバサダー委嘱の様子



ポスターを寄贈する牛島損保会長（右）

